

朝会での二小学級担任の話

これまで二小学級と呼ばれていた学級は、今日から「プラタナス」という学級名になりました。「プラタナス」は、成長していくと、20m～30mの大きな木になります。葉っぱは、先生の手よりも大きくなります。そのため、木陰を作るのに、ぴったりで、人が休む公園や道路に多く植えられています。成長したプラタナスは、鈴のような丸く黄色い実をつけます。大きさは、ゴルフボールくらいになります。プラタナスは、強風、潮風に強く、他の木に比べて生命力があり、根だけ残すように切断しても復活するくらい強い木です。

また、「プラタナス」には、『天才』と『好奇心』という花言葉の意味があります。これは、古代ギリシャで、プラトンやアリストテレスなどの哲学者たちがプラタナスの並木道の木陰で、哲学を説いたことが由来です。「プラタナス」に来ている子供たちは、興味をもったことや好きなことに、一生懸命取り組み、苦手なことにも投げ出さずに頑張って取り組んでいます。好きなことはもちろん、苦手なことにも、全力で取り組んで、プラタナスのように大きく成長してほしいと思ってします。そして、強く、たくましく、学校や社会で輝ける人になってほしいという願いを込めて、二小学級を「プラタナス」と名付けました。

ぜひ、皆さんも「プラタナス」に遊びにきてください。これから、「プラタナス」をよろしくお願いします。

開級式・教室の様子



